

国際ロータリー第2640地区
2017-2018、青少年・RYLA 委員会 委員長
橋本竜也



国際ロータリー 第2640地区、ロータリークラブの皆様へ

青葉が目に眩しいこの頃、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃はなにかと各クラブのロータリアンの皆様には青少年奉仕委員会、RYLA委員会に、ご理解、御協力をいただき誠にありがとうございます。

また、今回、RYLA委員会、主催による第36回 青少年・RYLA研修セミナーに御参加いただきましたこと、重ねてお礼申し上げます

今期、2017-2018年度のRYLA研修セミナーのテーマは「防災、その時あなたは大丈夫か？」とさせていただきます。構想を立ち上げたのは、昨年の冬頃だったでしょうか、地区青少年RYLA委員長の役職をいただき、すぐにこの基本構想案をまとめた後、いろんな方々の、素晴らしい意見や、御協力等が得られたことにより、今日この日を迎えることができました、その方々には本当に感謝をいたしております、

テーマを決める時にまず考えたのは、今、青少年に対して何が必要か、ロータリークラブRYLA委員会は今、彼等に対して何をしなければならないのか、そのいろいろある中で何が重要かということでした。防災をテーマとしたのは、もちろん当2640地区に近い将来、地震、津波災害が起こる確率がかなり高いということ、明日来るかもしれない、もしかすれば今この次の瞬間に来てもおかしくない状態の中で、彼ら青少年達に防災意識を持ってもらうきっかけになればよいと、そのように考えたからです。彼らが来たるべき時になすべきことを遂行できるように、今の我々の世代は今、やらねばならないことをやるべきだと思います。青少年奉仕はすぐに結果が出るものではありません、やがて来る未来が、災い多い時代であっても、彼らに今、知恵と勇気を受け 強く生きてもらいたい、そして彼らが多くの人を導き、幸せの種をまいてもらいたいと思っております。

今回のRYLAセミナーの企画につきましては、過去の先輩ロータリアンが遂行、成功をおさめられた、ここ海洋センターにて企画いたしました、2003-2004年度(前窪貫志ガバナ一年度)のRYLAセミナーを基本設計ベースにし、拡大改良を図り企画をいたしました、当時の R Iテーマは「Lend a Hand」手を貸そう です

そして、RYLA委員長が阪井様の時のテーマにありました Im OK ! これをもう1度やってみよう これらを防災につなげ、彼等がいかなる災害に遭遇しても、冷静に行動し、「私は大丈夫、だから、あなたに手を貸そう・・・」そのような思いから、2泊3日での海洋センターでの開催を思い計画した次第です。

最後になりましたが、企画開催にあたり、数多くの方に、アドバイス、協力をいただきましたことお礼を申し上げます

御礼

講師の方々：

日本防火、防災協会講師 松本雅洋様 自衛隊 和歌山地方協力本部 吉田光宏 1等陸尉様
泉州南広域消防本部、竹内消防正監様 泉州南消防組合 岬消防署 名倉署長、そして岬消防署の皆様
稲むらの火の館 館長 崎山光一様

御協力をいただきました、講師の方々、誠にありがとうございました

そして、多くのロータリアンの方々からの的確なご指導、御協力をいただきことができましたことを感謝申し上げます

皆様、大変ありがとうございました。2640地区青少年・RYLA委員会委員一同を代表し、お礼申し上げます。